講演原稿テンプレート

(第26回流動化・粒子プロセッシングシンポジウム)

Template of Manuscript

(26nd Fluidization & Particle Processing Symposium)

流動化太郎1，粒子花子2\*

1化学工学会 粒子・流体プロセス部会

2流動化大学大学院粒子プロセッシング研究科

Taro Ryudou1, Hanako Ryushi2\*

1Fluid & Particle Processing Division, The Society of Chemical Engineers, Japan

2Department of Particle Processing, Ryudoka University

\*Corresponding Author: inq\_fb26t@gifu-u.ac.jp

**Abstract**

This paper describes ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥

1. はじめに

本シンポジウムの講演論文は，前回と同じく「A4版・2段組・1〜4ページ程度」です．事務局ではフォーマットの修正はいたしませんので，原稿作成の際には本テンプレートを必ずご利用ください．

1. 論文題名

和文：12ポイントのMS Pゴシックまたはそれに準ずるフォントを用い，中央揃えとします．副題がある場合には改行して両端を丸括弧で囲んでください．

英文：12ポイントのTimes New Romanまたはそれに準ずるフォントを用い，中央揃えとします．副題は和文と同様，両端を丸括弧で囲んでください．

1. 著者名

和文：10ポイントのMS P明朝またはそれに準ずるフォントを用い，中央揃えとします．各著者の右肩にアラビア数字を付し，著者名の下にそれぞれのアラビア数字に対応する所属を示してください．

英文：10ポイントのTimes New Romanまたはそれに準ずるフォントを用い，中央揃えとします．和文と同様に各著者の所属を示してください．また，英文著者のうち，代表著者の右肩には所属を示すアラビア数字に加えて，アスタリスク(\*)を付し，英文所属の下にE-mailアドレスを表記してください．

1. 英文アブストラクト

200ワード程度の英文アブストラクトを示してください．書式は10ポイントのTimes New Romanまたはそれに準ずるフォントを用い，中央揃えとします．左右にインデントを設け，本文より幅を狭くしてください．

1. 章・節タイトル

章や節のタイトルには10ポイントのMS Pゴシックまたはそれに準ずるフォントを用いてください．

1. 本文
   1. 用紙サイズ，余白，段組，フォント

A4版用紙に以下の余白を設けてください．

上：17 mm 下：25 mm

左：18 mm 右：18 mm

本文は2段組としてください．

文字サイズは10ポイントとし，標準フォントは，

和文：MS P明朝

英文：Times New Roman

とします．上記フォントが使用できない場合はこれに準ずるフォントを用いてください．

段組の幅，改行幅についてはおおよそこのテンプレートと同様の見栄えとなるように調整してください．

* 1. 式と記号

式は以下の例に示すように，本文より字下げし，右端に式番号を記入してください．

 (1)

記号はイタリック体とし，ベクトルは太字のイタリック体を基本とします．

* 1. 図・表およびキャプション

図・表はできるだけ対応する本文と近い位置に配置してください．図中のフォントが小さくなりすぎないようにご留意ください．キャプションは，

**Fig.1** Experimental setup

**Table 2** Calculation conditions

のように記入してください．

日本語を理解できない参加者が，英文アブストラクトと図・表から概要を理解できるように，図・表は英語で作成してください．また，できればキャプションにはタイトル以外に英文で簡単な説明を加えてください．

* 1. 参考文献

必要最低限の情報が含まれ，論文内で書式が統一されていれば，どのような書式でも構いません．参考例を以下に示します．

1) Ryudou, T. et al.; *Chem. Eng. Sci.*, **15**, 123-135 (1998).

2) 流動太郎ほか; 化学工学論文集, **23**, 234-238 (2003).

3) 粒子花子; 流動層, 流動出版 (2008).

1. 原稿提出
   1. 枚数

原稿のページ数は、1〜4ページ程度でお願いします。

* 1. 提出期限

**2020年10月23日（金）厳守**

* 1. 提出方法

使用した全てのフォントを埋め込んだ**PDFの電子ファイルを作成し**，シンポジウムHPよりアップロードしてください．

ファイル名は「第一著者の姓.pdf」としてください（例：Ryudou.pdf）．同じ第一著者名で複数の講演を申し込まれた場合には，「Ryudou1.pdf」などとしてください．

8.問い合わせ先

原稿の執筆について質問があれば事務局までご連絡くだい．

事務局メールアドレス：inq\_fb26@gifu-u.ac.jp